

症例報告 説明・同意文書

患者 説明・同意文書に基づき以下の事項を説明し、症例報告として学会・論文発表することの是非を判断するために十分な時間を設けました。

説明事項

症例報告の目的	臨床診療から得られた新しい知識を普及させ、今後のより良い診療や医療の発展につなげていくこと目的とします。
公開方法	学会発表の場合、所属学会員と学会参加者に配布される抄録集に病歴や検査所見等が掲載され、発表時には学会参加者に同様の情報が公開されます。 論文の場合は、学会誌に論文を公開します。オンライン上でもアクセス可能となります。
症例報告への協力と取り消しの自由	症例報告の公開の可否は、患者（代諾者）の判断によってなされます。 症例報告に同意しない場合にも、診療において不利益を受けることはありません。 同意した後でも、発表前・論文投稿前であれば、同意を取り消すことが可能ですが、発表後や論文の後に掲載された内容を消去することは基本的には困難です。 また、症例報告の公開前に、公開の可否について倫理審査委員会が審査します。
人権擁護と個人情報保護	最善の注意を払い、発表に不可欠な事項を除き、患者のプライバシーに関する事項（氏名・生年月日、診療年月日、出身地、居住地、家族・家系が特定される情報、個人が特定される写真、その他個人の特定に結びつく情報）は記載しません。 以上の配慮にも拘らず、個人が特定される可能性のある場合は、患者あるいは代諾者等から了承を得ます。
同意書の管理	責任者が管理・保管し、個人情報の漏洩・紛失を防止します。 患者・代諾者にこの説明・同意文書と同意書のコピーをお渡しします。
症例報告の責任者	責任者：氏名

西暦 2022 年 4 月 1 日

説明者署名 _____

同意書

症例報告として学会・論文発表することについて、上記説明者より説明・同意文書に基づく説明を受け、その内容を十分に理解し、責任者が学会・論文発表することに同意します。

西暦 2022 年 4 月 1 日

本人署名 _____

代諾者署名 _____ 続柄 ()